

診療科紹介

外科

外科部長 西原 雅浩



盛夏の候、先生方におかれましては時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素よりご厚情を賜りまして心より御礼申し上げます。

本日は、当科の概要をご紹介します。

あかね会土谷総合病院外科の現在のスタッフは、杉野圭三副院長兼外科主任部長、川口康夫先生、楠部潤子先生、真島宏聡先生および私の計5名です。

手術症例数

昨年1年間の手術件数は、総数387件でした。

甲状腺関連の手術件数は例年約200件で、週刊朝日の「手術数で分かるいい病院2015」に掲載された全国ランキングでは、全国8位の件数でした。広島市内のみならず市外や近県からも多くの患者様をご紹介していただいております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

甲状腺の他、胃がん・大腸がん約45例、胆石胆嚢炎約40例、ヘルニア約40例、その他肝腫瘍、乳腺疾患、痔疾患など、幅広く消化器・一般外科も守備範囲としています。適応のある症例には腹腔鏡下手術を適応し、腹腔鏡下胆嚢摘出術をはじめ腹腔鏡下胃切除や腸切除も積極的に行っています。



消化器手術症例の患者背景とパフォーマンスの全国比較

当院の消化器手術症例の最も大きな特徴は、ハイリスク症例の占める割合が大きい点にあります。リスクの高い患者さんであっても、治療の機会を逃すことなく疾患の治癒を目的としたクオリティーの高い手術を提供したいと考え診療にあたっております。客観的な評価の目的でNCD(National clinical database)のフィードバックを参照してみると、例えば胃切除症例について、当院は米国麻酔科学会全身状態分類(ASA-PS分類)がgrade 3以上の症例割合や高度進行症例の割合が全国平均を遙かに超えています。心血管系疾患を持つ症例や腹膜透析や血液透析を受けている症例を数多く手術していることから、合併症の発生や在院日数延長などが懸念されましたが、手術部位感染症や縫合不全といった合併症は全国平均と比べて遜色なく、平均在院日数は若干多いという成績でした。



NCD Feedback

～患者背景とパフォーマンスの全国比較～

幽門側胃切除術 (2011年1月1日～2013年12月31日)

リスク因子	当科	全国
高度進行癌患者の割合	11.1%	1.4%
ASA-PS分類 3以上の割合	72.2%	9.8%
外科手術部位感染症	5.6%	4.0%
縫合不全	0%	2.1%
平均在院日数	28.8日	22.7日



合併症のない手術と成績向上を目指してまた、合併症を起こさないだけでなく、患者さんの納得のいく治療成績を目指さなければなりません。そのため手術の適応や選択術式はハイリスクな症例であってもガイドラインに沿うことを原則としています。麻酔科の先生にも相当なプレッシャーがかかりますが、いつも安定した麻酔管理を快く行っていただいております。手術操作は、至適な剥離層を維持し細やかな血管処理を有用なデバイスを用いて行うことを意識し、スタッフがそれを共通の認識として手術を行っています。安全で確実な手術を目指し、甲状腺外科で要求される繊細な手術手技のノウハウを消化器手術にも応用しているのです。術後管理も非常に大切で、その患者さんにふさわしい細かな配慮を必要とします。ときに心不全、不整脈、腎不全の増悪などのケースに遭遇することがありますが、循環器内科や腎臓内科、放射線科、消化器内科などの他科の先生方に力添えをいただき、迅速に適切な対応が可能な体制をとっています。

その他、甲状腺癌・消化器癌の進行再発進行癌に対する化学療法は、主に外科が担当して行っています。

女性外科医

乳腺疾患や肛門疾患等で女性外科医を希望される患者さんも時にいらっしゃると思います。女性外科医の外来日もございますのでそのニーズに応えられると幸いです。

外科のモットー「五省」(ごせい)

- 一 至誠に悖(もと)るなかりしか [誠実さや真心、人の道に背くところはなかったか]
- 二 言行に恥づるなかりしか [発言や行動に、過ちや反省するところはなかったか]
- 三 氣力に缺(か)くるなかりしか [物事を成し遂げようとする精神力は、十分であったか]
- 四 努力に憾(うら)みなかりしか [目的を達成するために、惜しみなく努力したか]
- 五 不精に亘(わた)るなかりしか [怠けたり、面倒くさがったりしたことはなかったか]

別添の「甲状腺トピックス」もご覧ください



一 至誠に悖るなかりしか
 二 言行に恥づるなかりしか
 三 氣力に缺くるなかりしか
 四 努力に憾みなかりしか
 五 不精に亘るなかりしか

五省は昭和7年、当時の海軍兵学校長松下 元(はじめ)少将が創始したものと言われています。将来海軍将校となるべき兵学校生徒の訓育のために考え出し、これを日々生徒に実施させたそうです。その言わんとするところは私たち外科医にも必要な訓であると考え、ことあるごとに思い出し日々努力しております。

先生方には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【外来担当表】

	月	火	水	木	金
午前	楠部潤子	杉野圭三 (新患・紹介のみ)	西原雅浩	杉野圭三 (新患・紹介のみ)	土肥雪彦
		西原雅浩	真島宏聡	西原雅浩	川口康夫
		川口康夫		楠部潤子	
午後		真島宏聡		真島宏聡	ストーマ外来 (第2・第4週)

最新のMRI装置が導入されました

放射線技師長 今田 直幸



先生方におかれましては、平素よりMRI検査のご紹介をいただき誠にありがとうございます。4月2日から装置入替え工事のため2ヶ月間MRI検査がストップして

おりました。大変ご迷惑をお掛けしたこととお詫び申し上げます。

6月1日よりPhilips社製Ingenia 1.5Tが稼働しております。磁場強度はこれまでと同じ1.5Tですが受信コイルのデジタル化により 信号の劣化を抑え、従来の装置に比べ信号強度が最大4割増加しました。拡散強調画像をはじめ多くの領域において、これまで以上に良好な画像を得ることが可能となりました。また、多くのメーカーから出ている条件付MRI対応ペースメーカーにも対応している点なども1.5TMRI装置のメリットといえるでしょう。





先生方におかれましては、平素よりCT・MRIなどの画像診断で大変お世話になりますことありがとうございます。4月より2ヶ月かけてMRI 機器の入れ替えが行われ、この度稼動開始となりました。休止期間中はご不便をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。15年間使用したMRI機器(Philips Intera)を、基本的には同性能である1.5T (テスラ) の機器(Philips Ingenia)に更新いたしましたが、この間の機器の進歩に驚かされている毎日です。3 Tの機械には及びませんが、機器の特徴を把握できればこれまで以上に高い品質の画像をご提供できるものと思います。近年では多くの施設にMRIが導入されていますが、これまで同様に患者様のご紹介をいただければと思います。

当院放射線科では血管内治療を積極的に行っています。血管内治療といえば肝臓癌の化学塞栓療法や出血性病変に対する動脈塞栓術が有名で、最近では子宮筋腫に対する動脈塞栓術も話題になっています。これらの治療のほぼ全てを当院では放射線科で行っています。また、心臓血管外科と協力し大動脈瘤や大動脈解離のステントグラフト治療も行っています。一方、近年では閉塞性動脈硬化症による大動脈から足背・足底動脈までの下肢動脈に、狭窄・閉塞をきたす症例が増加しています。特に透析患者様では重症化することが知られており、重症下肢虚血と呼ばれています。

当科では心臓血管外科、人工臓器部、皮膚科などの密な連携を行っており、下肢壊疽症例に対しても積極的に末梢血管までの治療介入（ステント留置やバルーンカテーテルによる血管拡張）を行っており、全国でも有数の症例数があります。

残念ながら当科では一般外来は行っておりませんので、上記のような症例がありましたら担当各科の先生にご相談いただければ幸いです。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



血管拡張前 血管拡張後

左図：
下腿の血管内治療画像



血管内治療の様子



これまでのMRI検査は狭いトンネルの中でじっとしていなければならないイメージですが、今回導入した装置は撮影空間が70cmと従来の装置より10cmも拡大しており圧迫感の大幅な軽減により快適に検査を受けられるようになっています。また清音機能の搭載によりこれまでよりは若干静かな検査が行えるようになりました。

装置のバージョンアップだけでなく、担当する放射線技師・看護師ともどもクオリティの高い画像の提供と患者様への気配りができるよう日々研鑽を積んでおりますので、ご紹介いただきますようお願い申し上げます。

院外の方の検査を受け付けます

CT検査であれば2～3日、MRI検査であれば1週間程度の待ち時間で検査が可能です(予約の具合によっては多少変動いたします)。撮影されたCD又はフィルムにはレポートをつけて紹介医にお送りしています。

私たちに
任せてください！



MR検査予約専用電話 (MR室直通) : 082-243-9192
CT検査予約専用電話 (CT室直通) : 082-243-9215
放射線科直通FAX (読影室直通) : 082-243-9216

各教室のご案内

場所: 8階会議室 参加費: 無料 * 当日参加可能です

《疾患を持つ方とそのご家族、又は興味のある方ならどなたでも参加できます》

教室名/時間	月 日		内 容	担 当	お問い合わせ
慢性腎臓病の 食事教室 14:30~15:30	8月3日	水	「たんぱく質の摂り方(2)」	医師/管理栄養士/ 看護師	3階南病棟 看護師長
	9月7日		「腎臓病食の献立について」		
	10月5日		「減塩の工夫」		
慢性腎臓病 (CKD)教室 10:30~11:30	8月16日	火	「透析と慢性腎臓病(CKD)」	医師/薬剤師/管理栄養士	
	9月20日		「糖尿病と慢性腎臓病(CKD)」	医師/薬剤師/看護師	
	10月18日		「心血管疾患と慢性腎臓病(CKD)」	医師/薬剤師/看護師	
心臓病教室 14:30~15:30	8月1日	月	運動が心臓に良って本当!?	理学療法士	心臓血管 センター
	9月5日		いざという時の心肺蘇生	看護師	
糖尿病教室 14:00~15:00	8月26日	金	生活習慣病と動脈硬化	医師	お薬窓口
	9月9日		油について ~エネルギーダウンの一工夫~	管理栄養士	
	9月23日		糖尿病の知識 嘘と本当	医師	
	10月14日		糖尿病の検査	検査技師	
	10月28日		糖尿病の基礎知識①	医師	
肝臓病教室 14:30~15:30	8月22日	月	「肝臓病の検査」/肝臓がんを予測する	検査技師/医師	北外来
	9月26日		肝疾患患者様の日常生活/ B型肝炎とのつきあい方	検査技師/医師	
	10月24日		肝疾患患者様の日常生活/ 肥満のおはなし	看護師/医師	

土谷総合病院

〒730-8655 広島市中区中島町3-30

TEL:082-243-9191 (代表) FAX:082-241-1865(代表)

* 地域医療連携室(紹介予約専用直通) *

TEL:082-243-9222 (予約直通) FAX:082-243-9223(予約直通)

《スタッフ紹介》

室 長 荒滝 桂子(消化器内科部長)

転院相談 (看護師) 師長伊美 礼子 楠本 万理

紹介予約 (事務) 遠山 亜紀 高橋 正江 山崎 貴子

医療相談 (MSW) 林 愛子 清水 香保里 桂木 真由美 倉岡 美紀

入退院センター (看護師) 内部 麻紀 亀井 久美子 松本 慶子 宮本 江里子

(事務) 廣川 敦子